

News Release

2015年3月10日

福島県、宮城県、岩手県を産地とする食材等の社員食堂での利用について ～復興庁と連携した復興支援の取組み～

■NTT東日本は、復興支援活動の一環として、被災地の農産物を優先的に仕入れ、これまでも社員食堂で利用しておりますが、2015年4月以降についても、未だ震災による風評被害が残る福島県の農産物を、優先的に社員食堂で利用します。

■また、復興庁主催の地域復興マッチング「結の場」※参加企業として、本年度の開催地であった宮城県多賀城市・気仙沼市、岩手県大船渡市の被災企業（食品製造、水産加工）の商品を利用した『結の場特別メニュー』を社員食堂で提供する予定です。

■これらの取組みを通じて、被災地・被災企業の復興に向けた取組みを支援してまいります。

※地域復興マッチング「結の場(ゆいのば)」について

復興庁では、被災地域の企業が抱える多様な経営課題の解決を図るため、大手企業等が、技術、情報、販路など、自らの経営資源を幅広く提供する支援事業の形成の場として、「地域復興マッチング『結の場』」を実施しています。

復興庁ホームページ：<http://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat4/sub-cat4-1/yuinoba.html>

1. 取組みの目的

東日本大震災の発生から約4年が経過した現在でもなお、被災地では、復興に向けた取組みが続いておりますが、NTT東日本は、被災地の食材や被災企業の商品の社員食堂での利用を通じて、復興に向けた取組みを支援してまいります。

2. 実施概要

NTT東日本の社員食堂において、下記の取組みを実施します。

- ・福島県産の食材を優先的に仕入れた上でメニューとして提供。
- ・復興庁主催「結の場」参加企業として、本年度開催地であった宮城県多賀城市、気仙沼市・岩手県大船渡市の被災企業（食品製造、水産加工）の商品を利用した『結の場特別メニュー』を提供（予定）。

実施食堂	利用者数 (1日平均)	開始時期
本社ビル(初台)	1,700人	2015年4月頃 (準備が整い次第)
品川TWINSビル	2,000人	
仙台五橋ビル(第1、第2ビル)	1,000人	